

データ入稿注意点

●トンボについて

トンボ（トリムマーク）とは、断裁をする際に仕上がりサイズの大きさを示す印のことをいいます。
トンボがない場合、ご希望の断裁の位置がわからない場合がございますので、必ずトンボを付けてください。

トンボには内トンボ、外トンボ 2 段階の線があり、その間は 3mm 程度で、内トンボは仕上がりを示すもの、外トンボは、裁き落としのための塗り足し部分を示しています。



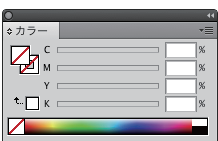
●トンボ作成の手順

弊社ではトンボ作成済みのテンプレートをご用意しております。
各種テンプレートよりダウンロードし、ご利用頂ければトンボ作成は不要です。
お客様ご自身でトンボを作成する場合、下記の手順で作成してください。

- 1 仕上がりサイズ（通常サイズの名刺なら91×55mm）の枠を長方形ツールで作成します（図1）
- 2 1で作った長方形を選択し、上部メニューから「オブジェクト」→「トリムマークを作成」の順に選択します（図2）
- 3 1で作った長方形の塗り・線のカラーを透明にします（図3）



(図1)



(図3)



(図2)

●フォントのアウトラインについて

フォントのアウトライン化をしなかった場合、弊社でお客様のデータを開いた際に**フォントが違うものと置き換えられてしまう**恐れがあります。

そのため、データ入稿をされる際には、データ内の**フォントをアウトライン化**することをお願いしております。
アウトライン化することによって、お客様が制作したデータをそのまま印刷することが可能となります。
また、**一度アウトライン化してしまつてテキストの変更が出来なくなります**ので、アウトライン化前のデータを別名保存でバックアップしておくことをお薦め致します。

●アウトライン作成の手順

- 1 全ての要素のロックを解除し、非表示のレイヤーやオブジェクトを表示させます。
- 2 上部メニューから「選択」→「全てを選択」の順に選択します。（図1のテキストはまだアウトライン化する前のものです）
- 3 上部メニューから「書式」→「アウトラインを作成」の順に選択します（図2）
- 4 図3のようにテキストの周りにラインが入っていればアウトライン化されたことになります。この時点でテキストの変更は出来なくなりますのでご注意ください。



(図1)



(図2)

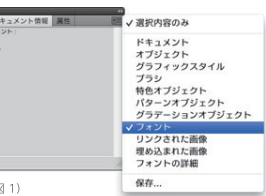


(図3)

●フォントのアウトライン漏れがないかどうかの確認方法

文字をアウトライン化したつもりでも書体が残っている場合があります。
ご入稿前に以下の手順で文字が正常にアウトライン化されているかの確認をお願い致します。

- 1 全ての要素のロックを解除し、非表示のレイヤーやオブジェクトを表示させます。
- 2 「ドキュメント情報」ウィンドウが出ていない場合、上部メニューから「ウィンドウ」→「ドキュメント情報」の順に選択します。
- 3 「ドキュメント情報」ウィンドウで「フォント」を選択し、「なし」と表示されている場合は正常にアウトライン化されています（図1）



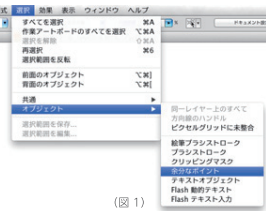
(図1)

●孤立点について

パスや空テキストを削除し忘れたときにそのまま残ってしまう単独のアンカーポイントのことを、孤立点と呼びます。
空テキストの場合、**フォント情報が残ってしまう**ので削除をお願いしておりますが、この孤立点には色がついていないので目視で探すのは困難です。
下記の手順で簡単に孤立点を削除できますので、ご入稿前にその作業をお願いいたします。

●孤立点削除の手順

- 1 全ての要素の選択を解除します。
- 2 上部メニューから「選択」→「オブジェクト」→「余分なポイント」の順に選択します（図1）
※Illustrator CS 以前の方は「編集」→「選択」→「孤立点」
- 3 キーボードの delete ボタン等で選択したオブジェクトを削除します。



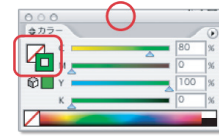
(図1)

●線の設定について

線幅は、**最低 0.25pt 以上**必要とします。
それ以下にしてしまいますと、印刷されなかったり、点線のようにになってしまう恐れがあります。
また、下図のように色の設定は「塗り」と「線」の2種類あります。
「塗り」のみに色が設定されている場合、印刷されない場合がありますので必ず「線」に色設定をするようお願い致します。



「塗り」のみに色が設定されているため、極細いラインになっている。

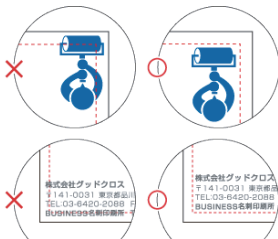


「線」のみに色が設定された正常な状態。

●印刷範囲・塗り足しについて

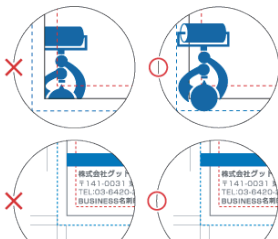
印刷と断裁の際には、必ず0.5～1mm前後のズレが発生します。
そのため、**文字やロゴマーク等は断裁面より3mm以上内側に配置**すること、断ち切りデザインの場合は**塗り足し（ドブ）を作成**することをお願いしております。
塗り足しがないと、断裁時のズレにより用紙の端まで印刷されない場合があります。

●印刷可能範囲



文字やロゴマーク等は断裁面より3mm以上内側に配置して下さい。

●塗り足し（ドブ）



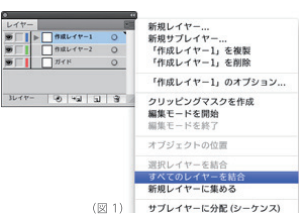
断裁面より 3mm 以上外側までデータを作成してください。

●レイヤーについて

作成レイヤーは入稿前に**1つのレイヤー**にまとめてください。
また、複数のデータをレイヤーで分けて1ファイルでご入稿頂くことはご遠慮ください。

●レイヤー結合の手順

- 1 「レイヤー」ウィンドウが出ていない場合、上部メニューから「ウィンドウ」→「レイヤー」の順に選択します。
- 2 「レイヤー」ウィンドウ右上のメニューから「すべてのレイヤーを結合」を選択します。（図1）



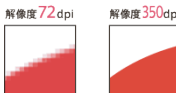
(図1)

●配置画像について

Illustrator に配置できる形式は eps・psd・jpeg・gif などですが、弊社にご入稿頂く場合、**画像データの形式を eps 形式、カラーモードを CMYK、画像解像度を 350dpi**に設定するようにお願いしております。

●画像解像度について

パソコンのモニタ上で綺麗に見えたものでも、印刷すると粗く再現されてしまう場合があります。
これはモニタと印刷機それぞれに最適な画像解像度の違いによるもので、印刷をする時に最適な画像解像度は原寸サイズ（引き伸ばしなし）で 350dpi 程度です。
それ以上解像度を上げても更に綺麗になるわけではありません。
また、画像解像度 72dpi の画像を 350dpi に拡大しても元が 72dpi なので綺麗になることはありません。画像を制作するときは始めに解像度を 350dpi にしてください。
画像解像度の低い[GIF データ]や[JPG データ]は印刷すると粗く再現されてしまいますので注意してください。



●画像解像度の確認方法

- 1 Photoshop で確認したい画像を開きます。
- 2 上部メニューから「イメージ」→「画像解像度」の順に選択します（図1）
- 3 「画像の再サンプリング」のチェックを外し、「幅」または「高さ」に使用したい大きさを入力します（図2）
- 4 「解像度」欄が 350 以上になっていれば問題なく印刷が可能です。



(図1)



(図2)

●画像の配置方式について

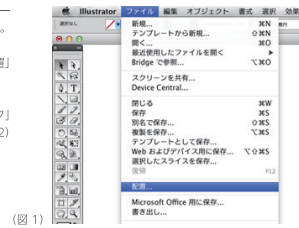
画像データを Illustrator に読み込む方法は「埋め込み」と「リンク」2 種類の方法があります。

【埋め込み】
配置する画像を Illustrator のデータの中にも含ませる配置方法です。
画像データの修正をした際に変更が反映されないで、再度埋め込み処理が必要になります。
データの容量は重くなりますが、入稿時に Illustrator データ 1 ファイルのご用意のみで入稿できます。

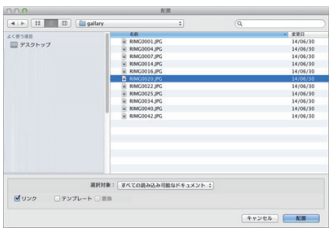
【リンク】
別に用意した画像データを Illustrator に呼び出す配置方法です。
画像データの修正をした際はそのまま変更が反映されます。
容量は軽くなりますが、入稿時に Illustrator データと画像データをまとめて入稿して頂く必要があります。

●画像配置の手順

- 1 リンク方式で配置をする場合、予め Illustrator データと画像データと同じフォルダにまとめておきます。
- 2 Illustrator で上部メニューから「ファイル」→「配置」の順に選択します（図1）
- 3 配置したい画像を選択すると、左下にある「リンク」チェックボックスが選択できるようになります（図2）
- 4 ○チェックを入れた場合は、画像を Illustrator に「リンク」します。
○チェックをはずした場合は、画像を Illustrator に「埋め込み」します。



(図1)



(図2)

●ロック・非表示について

入稿データには、ロックがかかっているレイヤー・オブジェクト、非表示になっているレイヤー・オブジェクトはないようにしてください。

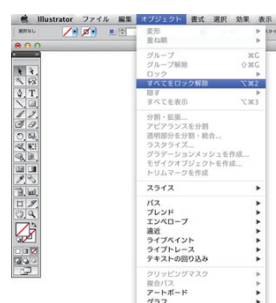
●レイヤーのロック解除方法

- 1 「レイヤー」ウィンドウが出ていない場合、上部メニューから「ウィンドウ」→「レイヤー」の順に選択します。
- 2 「レイヤー」ウィンドウ右上のメニューから「すべてのレイヤーをロック解除」を選択します。



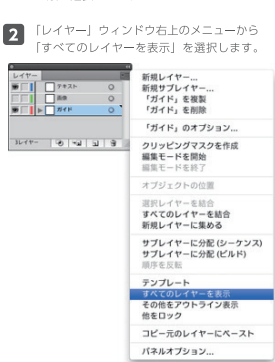
●オブジェクトのロック解除方法

- 1 上部メニューから「オブジェクト」→「すべてをロック解除」の順に選択します。



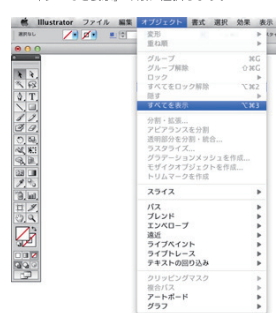
●レイヤーの非表示解除方法

- 1 「レイヤー」ウィンドウが出ていない場合、上部メニューから「ウィンドウ」→「レイヤー」の順に選択します。
- 2 「レイヤー」ウィンドウ右上のメニューから「すべてのレイヤーを表示」を選択します。



●オブジェクトの非表示解除方法

- 1 上部メニューから「オブジェクト」→「すべてを表示」の順に選択します。



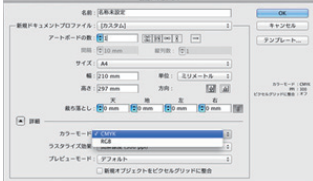
●カラーモード・特色について

データのカラーモードには RGB、CMYK、グレースケール等がありますが、弊社へのデータ入稿の場合、Illustrator データ、画像データ共に **CMYK**（カラー印刷の場合）または**グレースケール**（モノクロ印刷の場合）での入稿をお願いしております。
また、**オンデマンド商品の場合は特色を使用してご入稿頂いても CMYK に分解して印刷されます**ので、オンデマンド商品での特色の使用はご遠慮ください。

●CMYK・グレースケールの設定方法

Illustrator データ、または画像データを新規作成する際、「カラーモード」を CMYK またはグレースケールに設定してください。

●Illustrator での新規作成画面



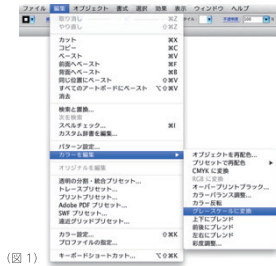
●Photoshop での新規作成画面



または、Illustrator で下記のように設定してください。

●Illustrator でのカラー変換方法

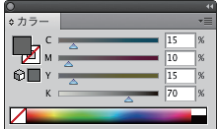
- 1 変換したいオブジェクトや画像を選択します。
- 2 「編集」→「カラーを編集」→「CMYK に変換」または「グレースケールに変換」の順に選択します（図1）



(図1)

●墨の設定について

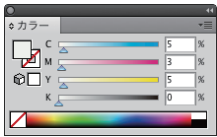
CMYK の掛け合わせで黒（またはグレー）を作成した場合、色に滲みが出る恐れがあり、細い部分が読みにくくなる恐れがあります。
また、**掛け合わせのグレーはカラー料金扱い**となります。



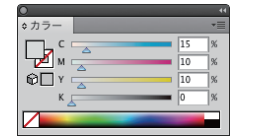
上の図は一つ、黒（グレー）に見えますが、カラー情報が含まれています。
そのままデータ入稿すると、カラー料金が発生する上に汚れた色になりがちですのでご注意ください。

●薄色について

1～10% 濃度の薄い色は出にくく捨ててしまうため、15% 以上の濃度設定を推奨しております。
また、グレーや薄い色のペダは非常にムラがやすいのでご注意ください。



15% 未満の色設定



15% 以上の色設定